2025 年 4 月 30 日
東北電力株式会社
東通原子力発電所

＜お知らせ情報（Ｃ情報）に至らないごく軽度な機器故障＞（月報）
（機器の故障に起因する不適合事項（軽微なもの））
２０２１年１月分（３月３１日現在）

No.	発生日	設　　備	概　　要	処置状況	発生場所
1	2021.1.8	補助ボイラー設備（発電所の各系統で使用する非放射性の蒸気を供給する設備）	２系統ある補助ボイラー設備のうち運転中の１系統において、脱酸剤※1注入ポンプの異常を示す警報が発生し、当該ポンプが停止した。このため、待機していたもう１系統の補助ボイラーを起動し、その後、異常を示す警報が発生した系統の補助ボイラーを停止した。 原因調査の結果、ポンプとモーターの接続部に使用しているインサートリング※2が破損していることを確認した。 このため、当該リングを新品に交換し、当該ポンプの運転状態に異常がないことを確認した。 また、当該リングが破損した原因は経年劣化によるものであることから、当該ポンプの点検の都度、当該リングを交換することとした。 ※１　補助ボイラー設備の腐食防止のため、給水に含まれる溶存酸素を除去する薬品 ※２　ポンプ運転時のポンプとモーターのずれ（偏心・偏角）を吸収するための部品	処置済み	補助ボイラー建屋

2	2021.1.18	補助ボイラー設備（発電所の各系統で使用する非放射性の蒸気を供給する設備）	２系統ある補助ボイラー設備のうち異常を示す警報の発生により停止していた１系統において、清缶剤※1注入ポンプとモーターの接続部に使用しているインサートリング※2が破損していることを確認した。 点検の結果、当該リング以外に異常は確認されず、破損した当該リングについては新品に交換した。 原因調査の結果、当該リングが破損した原因は経年劣化によるものであることから、当該ポンプの点検の都度、当該リングを交換することとした。 ※１　補助ボイラー設備の腐食防止のため、給水に含まれる硬度成分（カルシウム等）の堆積を抑制する薬品 ※２　ポンプ運転時のポンプとモーターのずれ（偏心・偏角）を吸収するための部品	処置済み	補助ボイラー建屋
3	2021.1.19	放射性廃棄物処理設備　固化処理設備（発電所にて発生した濃縮廃液や使用済み樹脂をドラム缶内でセメントと混合させ、固化させる設備）	固化処理設備において、使用済み樹脂の固化体を製作していたところ、セメントと樹脂が十分に混錬されていないことを確認した。 原因を調査中である。 なお、当面固化処理ができなくても使用済み樹脂を貯蔵しているタンクの容量に十分余裕があることから、本事象によるプラントへの影響はない。 また、本事象は、使用済み樹脂の固化体製作における不適合事項であり、使用済み樹脂を含まない固化体製作に影響はない。	対応中	サービス建屋

4	2021.1.21	放射性廃棄物処理設備　固化処理設備 （発電所にて発生した濃縮廃液や使用済み樹脂をドラム缶内でセメントと混合させ、固化させる設備）	固化処理設備において、濃縮廃液の固化体を製作していたところ、固化体製作に必要な濃縮廃液の計量時に濃縮廃液計量タンク内の濃縮廃液が規定量を下回っていることを示す警報が発生し、固化体製作工程が停止した。 その後の原因調査の過程において、濃縮廃液計量タンクに規定時間内に規定量の廃液の移送が完了しなかったことを示す警報が発生した。 原因調査の結果、流量調整のために設置している弁に濃縮廃液中の不純物が付着したことによって流路が狭くなり、移送流量が低下したものと推定した。 再発防止対策として、当該弁に対する不純物の付着を除去するため、固化体の製作前に、当該弁の開閉操作を実施するよう操作手順の見直しを行った。	処置済み	サービス建　屋

・「不適合」とは、要求事項を満たしていない状態をいいます。

※処置状況欄記載の「対応中」、「補修済み・取替済み・復旧済み」、「処置済み」については、以下の状況をいいます。

・対応中　：要求事項を満足する状態に復旧中です。

・補修済み・取替済み・復旧済み：要求事項を満足する状態に復旧済みです。
今後、原因調査、対策等を講じます。

・処置済み：要求事項を満足する状態に復旧し、原因調査、対策等を実施済みです。
なお、今後、水平展開について検討・対応します。

・今月の更新箇所は下線で示しています。